

2018年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名: 詳細環境調査
 調査媒体: 底質(ng/g-dry)
 地方公共団体: 岡山県
 調査地点: 水島沖

調査対象物質	測定値			報告時 検出下限値	検出下限値
	検体1	検体2	検体3		
[6]中鎖塩素化パラフィン類(アルキル鎖の炭素数が14から17までで、かつ、塩素数が4から9までのもの。)	29	34	nd	※※19	※※27
[6-1] 塩素化テトラデカン類(塩素数が4から9までのもの。)	14	11	※7.5	※※5.9	※※7.5
[6-1] 塩素化テトラデカン類(塩素数が5から8までのもの。)	14	11	7.5	※※4.5	※※5.7
[6-1-1] テトラクロロテトラデカン類	nd	nd	nd	0.71	1.1
[6-1-2] ペンタクロロテトラデカン類	3.4	2.1	※1.5	1.4	1.8
[6-1-3] ヘキサクロロテトラデカン類	6.0	4.3	2.7	1.6	2.0
[6-1-4] ヘプタクロロテトラデカン類	3.7	3.5	2.4	0.79	0.99
[6-1-5] オクタクロロテトラデカン類	0.96	1.1	※0.89	0.74	0.93
[6-1-6] ノナクロロテトラデカン類	nd	nd	nd	0.74	1.2
[6-2] 塩素化ペンタデカン類(塩素数が4から9までのもの。)	8.3	15	5.9	※※3.7	※※4.7
[6-2-1] テトラクロロペンタデカン類	nd	nd	nd	0.57	0.90
[6-2-2] ペンタクロロペンタデカン類	1.8	2.1	0.88	0.65	0.82
[6-2-3] ヘキサクロロペンタデカン類	3.5	5.5	1.9	0.67	0.84
[6-2-4] ヘプタクロロペンタデカン類	2.3	5.4	2.0	0.81	1.0
[6-2-5] オクタクロロペンタデカン類	※0.72	1.9	1.1	0.59	0.74
[6-2-6] ノナクロロペンタデカン類	nd	nd	nd	0.43	0.68
[6-3] 塩素化ヘキサデカン類(塩素数が4から9までのもの。)	nd	nd	nd	※※5.3	※※7.8
[6-3-1] テトラクロロヘキサデカン類	nd	nd	nd	0.89	1.3
[6-3-2] ペンタクロロヘキサデカン類	nd	nd	nd	1.3	2.0
[6-3-3] ヘキサクロロヘキサデカン類	1.3	1.1	※0.82	0.78	0.99
[6-3-4] ヘプタクロロヘキサデカン類	※0.98	※0.92	nd	0.85	1.3
[6-3-5] オクタクロロヘキサデカン類	nd	nd	nd	0.84	1.2
[6-3-6] ノナクロロヘキサデカン類	nd	nd	nd	0.64	1.0
[6-4] 塩素化ヘプタデカン類(塩素数が4から9までのもの。)	nd	nd	nd	※※3.6	※※5.7
[6-4-1] テトラクロロヘプタデカン類	nd	※0.84	nd	0.63	0.99
[6-4-2] ペンタクロロヘプタデカン類	nd	nd	nd	0.67	1.0
[6-4-3] ヘキサクロロヘプタデカン類	※0.91	※1.1	nd	0.86	1.3
[6-4-4] ヘプタクロロヘプタデカン類	nd	nd	nd	0.62	0.97
[6-4-5] オクタクロロヘプタデカン類	nd	nd	nd	0.53	0.83
[6-4-6] ノナクロロヘプタデカン類	nd	nd	nd	0.33	0.51
[7] ヒドラジン	3.8	3.9	---	0.0096	0.0096
[10] n-ヘキサン	nd	nd	nd	0.81	1.1

(注1) 「nd」は不検出を意味する。

(注2) ※: 参考値(調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満)

(注3) ※※: アルキル基の炭素数別の検出下限値の合計値である。

(注4) アルキル鎖の炭素数が14から17までで、かつ、塩素数が4から9までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。

(注5) 塩素数が4から9までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。

(注6) 塩素数が5から8までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。

(注7) ---: 欠測等